

玉垂



第一鳥居前に奉納された「江戸彼岸群 枝垂れ桜」(平成24年1月8日)

<http://www.okunijinja.or.jp>

春暖の中で

東日本大震災という国難に遭い一年が経とうとしています。それぞれの立場におきまして、また様々な形で被災地の再生復興に向け支援してこられたことと存じます。しかし、今復興の妨げとなっているのは、がれき処理が進まないことです。今こそ「国民の絆」助け合いの精神で全都道府県が分担し、受け入れすべきと思えます。もし、がれき処理が進まず、被災者の復興に向けての心の糸が切れてしまったら、同胞として誠に申し訳ないことです。

前号でご紹介致しました、当社特別崇敬者で書家の杭迫柏樹先生等がまとめ役となり、復興の願いを込めた「漢字一文字を墨書きしてもらおう運動」には、三万点余りのご協力があったそうです。今後はその書を「行灯あんどん」にして四月に石巻市に届ける事になっているとのことです。

さて、去る二月二十六日、当社の古式舞楽保存会がNHKホールにて開催されました「第十二回地域伝統芸能まつり」に出演いたしました。この芸能まつりは、日本各地に脈々と受け継がれてきた芸能を保存伝承し、地域の活性化をはかる取組みで、郷土愛と地域づくりの機運を育む契機となることを目的として開催されました。太平楽たいへいらく、陵王りやうおう、抜頭はくとうを演じてまいりましたが、稚児達は大舞台にもかかわらず、立派に舞っておりました。

ところで、日本文化興隆財団主催の神社検定(神道文化検定)が、六月三日当社を始め全国一斉に実施されます。「神社が好きな方、日本をもっと知りたい方のための検定です。」とパンフレットに謳われています。受験用の公式テキストが発売され、神社の関係者でも早速購入された方がいて、注目度は上がっています。この機会に神社神道について学ぶことにより正しい知識を得て頂き、更に日本文化への理解を深めて頂きたいものであります。

花々が咲き始めますと、例祭も近づきます。関係各位のご協力を本年もどうか宜しくお願いいたします。



第一鳥居の「謹賀新年」 (1月2日)



平成24年「辰」(製作 鈴木格子氏)



手鉾始の神事 (1月11日)



どんど焼と「おはたき餅の竹棒」 (1月15日)



御弓始神事の地射手 (1月17日)



降雪の参集殿と境内 (1月17日)



正月の参道風景 (1月2日)

節分祭の斎行

二月三日（金）午後二時より節分祭を斎行いたしました。当日は、一段と寒さ厳しい節分の日となりました。浜松市ご出身の俳優寛見利夫さんとオリピック女子レスリング金メダリストの伊調馨選手をお招きし、特別奉仕者としてご参加いただきました。

お二方を始め約一〇〇名の年役の方々、色とりどりの大紋を身にまとい、追儺神事や災厄を祓う福笑い神事などをご奉仕いたしました。また、神事後の豆撒きでは、お二人の姿を一目みようと集まった大勢の参拝者に笑顔で手を振って応えられておりました。

寛さんは、「NHKおやじバトル」



節分祭特別奉仕者 寛 利夫氏(右)・伊調 馨選手(左) (2月3日)



寛 利夫氏奉納の「祈願俵」(2月3日)

「日本テレビZIP」や「シアタークリエとび加藤」等に出演されております。また伊調さんは本年夏のロンドンオリピックに出場されます。大神様の御神徳をお受けになられ、お二方の更なるご活躍をご祈念申し上げます。

門前境内整備の奉納

昨年末、門前の駐車場の植栽を整備いたしました。これは、浜松市浜北区の(有)十園様の篤志によるもので、枝垂れ桜、黒松、三ヶ日石が奉納・整備されました。

現在、枝垂れ桜は枝を落としてあるため今春は開花いたしません、二、三年後にはご覧いただけると思えます。江戸彼岸群に属し、その名の通り彼岸に開花するため、ソメイヨシノより若干早めにお楽しみいただけそうです。樹高が十五メートルほどあるのでかなり目を引き、樹齢も長いいため春先の門前の風物詩になることと思えます。

今後は、国旗掲揚塔横の黒松と対し、鳥居西側には赤松を植える予定であります。



門前境内整備の奉納 (12月11日実施)

「雨谷麻世」さんと音楽に親しむ会

十二月十六日（金）、森町立宮園小学校におきまして、ソプラノ歌手の雨谷麻世さんをお招きし「音楽に親しむ会」が全校児童参加のもと開催されました。当日は、五年生が教科書に採用されている雨谷さんの「僕にできること」を合唱し、一緒に歌いながら同曲を中心に歌唱指導がされ、特に笑顔で歌うことなどの表現方法についてもアドバイスをされました。

また、雨谷さんの歌を聴いた子供達は、究極のクリスタル・ヴォイスと称賛されるその歌声に感動した様子で、終始和やかに特別授業が行われました。現在、雨谷さんは環境と子供をテーマにしたチャリティーコンサートを精力的に展開されております。今後のさらなるご活躍を期待いたします。



雨谷麻世さんの歌唱指導 (森町立宮園小学校・12月16日)

師走の大祓式齋行

十二月三十一日(土) 大晦日の午後三時より師走の大祓式を齋行いたしました。

大祓式は六月と十二月の年二回行われ、常に清らかな気持ちで日々の生活に勤しむよう、自らの心身についた罪やけがれを祓い清める日本古来の伝統神事です。当日は氏子内外より多くの方々が参列され、新しい年を迎えるにあたりお祓いを受けました。その後、拝殿にて齋行されました除夜祭にも参列され、大前に一年間の無事を感謝し、来る年が良い年であるよう祈願いたしました。

六月三十日には境内に設けられた「茅の輪」をくぐる、夏越の大祓式が齋行されます。当日お祓いをご一緒にお受けいただけますので、是非ともご参列いただきますようご案内申し上げます。



師走の大祓式 (平成23年12月31日)

田遊び祭・田遊び神事

正月三日(火) 午後一時より田遊び祭が拝殿にて齋行され、その後「田遊び神事」が舞殿にて奉納されました。

田遊び神事は旧社家の皆様方により継承され、毎年正月の恒例神事として奉仕されており、本年の豊作を祈願し田作りから刈り入れまでの稲作過程を一番「素鋤」から十二番「歌おろし」までの演目により模擬的に演じます。

田に見立てた太鼓を中心に田唄に合せて所作を行う素朴な神事に、参拝者は感心を寄せておりました。神事後、神札の授与・投げ餅が行われました。

田遊び神事6番「なえくさふ苗草踏み」(1月3日)

紀元祭の齋行

二月十一日(土) 建国記念の日に紀元祭を齋行いたしました。本年は好天に恵まれ、一宮地区・円田地区・草ヶ谷地区からの建国奉祝パレードを三年ぶりに実施することができ約三百名の方々にご参加いただきました。

紀元祭齋行後は、拝殿前にて奉祝式典を実施し、森町長村松藤雄様を始め、静岡県議会議員渡瀬典幸様からご祝辞を賜りました。

また境内では、氏子青年会による「餅つき」を実施し、つきたてのきな粉餅をご参拝の方々にご賞味いただきました。



氏子青年会奉仕の「餅つき」(2月11日)

岩手県大槌市・白澤鹿子踊の奉納

二月十二日(日) 当社に、白澤鹿子踊保存会による白澤鹿子踊が奉納されました。

保存会の皆様は、同日森町文化会館にて開催の第三十九回静岡県ポランティア研究会に出演されるため、前夜から岩手県よりバスで移動され、午前八時頃当社に到着致しました。その後、殿内にて正式参拝をされ、お揃いの衣装を身に纏い拝殿前にて力強く迫力のある鹿子踊をご奉納いただきました。

この踊りの由来は『成長した鹿が大きな角を自ら大木につけて根本から折り、新しい角の「再生」を促すもの』と云われています。

東日本大震災による被災地が以前にも増して美しく豊に再生復興されますよう、心よりお祈りいたします。



白澤鹿子踊の奉納 (2月12日)

天皇陛下御不例御見舞

天皇陛下におかれましては、二月十八日、ご病気による手術をお受けになられ、三月四日無事にご退院されました。

当社におきましては、二月十八日に天皇陛下御病氣平癒祈願祭を斎行し、二月二十三日、祈願神札の献上と御不例御見舞記帳のため、宮司が参内いたしました。

また、同日より二月二十六日まで社頭に御見舞記帳所を設け、三五八八名の方々に記帳をいただきました。この記帳簿は、静岡県神社庁を通じ宮内庁へお届けいたしました。

ご退院後は順調なご回復をされておられると伺いますが、一日も早くお元気なお姿を拝見できますようご祈念申し上げます。



御見舞の記帳所（2月19日）



社務所前の枝垂れ桜（平成23年4月12日）



宮ノ谷地区の梅園（2月24日）



「僕、美味しくないよ」（青島 隆氏）

恒例となりました当社主催の「写真コンテスト」は第十回を迎えます。テーマは「境内に咲く草花・樹木などの自然及び祭事・催物」となります。撮影の対象期間は平成二十三年十一月より平成二十四年六月下旬で、ご応募は本年六月末日にて締切となります。皆様方の多くの作品をお待ちしております。



第十回「写真コンテストのご案内」

尚、応募用紙は小國神社と写真材料商組合中遠支部加盟店にて配布しております。詳しくは小國神社写真コンテスト係までお問い合わせください。

TEL 〇五三八（八九）七三〇二

古代の森シリーズ 34

常夜燈

常夜燈とは、神社仏閣の社殿内部や境内で一晩中つけておく明かりのことを指し、燈籠とも言います。

寺院で用いられることが多く、平安時代以降の神仏習合の影響により神社にも取り入れられるようになりました。一般的には野外に石造の大きなものを、廻廊には金属製の釣り燈籠が使用され、その他にも木製・陶製のものがあります。形態は置燈籠、懸燈籠など設置場所や用途に応じて使い分けられています。

また、常夜燈は夜間ご参拝される方のための照明であります。単に足元を照らすものだけでなく、神様のご神徳を一層強くいただくためにご神前に明かりを灯してお供えするものもあり、これを御神燈と言います。

これら常夜燈などは氏子や崇敬者から奉納されるものが多く、奉納者の名前や住所・職業などを刻むことがあり、神社に対する崇敬の念が表れています。



参道の常夜燈（2月24日）

平成二十四年例祭

四月十八日（水）に斎行される例祭は、当社の御祭神「大己貴命」が本宮山に祀られ、また十二段舞楽が奉奏された最も由緒ある日であります。

本年は十四日（土）に猷詠祭・氏子入り奉告祭、十五日（日）に神幸祭（おわたり）が斎行され、十二段舞楽は両日奉奏されます。

神幸祭では、神輿渡御の御旅所にて巫女舞（森町指定無形文化財）が奉仕され、勅使行列も合流します。

境内では新茶の手揉み実演、大弓会、甘酒の無料授与が実施されますので、お楽しみ下さいませようご案内申し上げます。

そして十七日（火）に前日祭を斎行、大神様の御神慮を賜り例祭当日を向かえます。



「古式床しく」（小松原 清氏）

勸学祭・氏子入り奉告祭のご案内

本年の勸学祭は四月七日（土）午前十一時より、また氏子入り奉告祭は四月十四日（土）午後二時より斎行いたします。

勸学祭は、氏子地域で小学校また中学校にご入学されますお子様にご参列いただき、学業成就・身体健全・交通安全をご祈前にてご祈願申し上げます、お祝いいたします。

氏子入り奉告祭は、平成二十三年四月一日より平成二十四年三月三十一日までにお生まれになられたお子様と嫁入り・婿入り・転入居住された方々にご参列いただき、当社の氏子に加わったことをご祈前にご奉告申し上げます、家内安全・無病息災をご祈願いたします。お申し込みは、各地区の総代さんを通してご連絡いたしますので名簿にご明記の上、ご家族皆様お揃いでご参列いただきますようご案内申し上げます。



勸学祭参列の新入学児童（平成23年4月2日）

一宮さくら祭の開催

四月一日（日）、一宮さくら祭を開催いたします。

さくら祭のメイン会場となる門前駐車場の特設舞台では、バンド演奏やダンスなど華やかな演目が披露され、餅撒きを行うなど終日多くの人で賑わいます。舞殿では琴と尺八の演奏が奉納され、優雅な音色が響き渡ります。茶席や甘酒の接待もありますので境内各所で春の雰囲気をお楽しみいただけます。

梅の開花は例年より一週間ほど遅れましたが、桜の開花予想は平年並みという事です。四月初旬は満開の桜をお楽しみいただけそうです。皆様お誘い合わせのうえお出かけ下さいませようご案内申し上げます。



一宮さくら祭の開催（特設会場）

新東名開通と森町PA

新東名が四月十四日（土）午後三時に、静岡県内一六二キロメートルにわたって開通します。開通区間の御殿場JCTより三ヶ日JCT間には十二箇所インターチェンジが設置されるとともに三箇所東名と接続されます。また、六箇所サービスエリアと七箇所パーキングエリアがあります。

当地域森町にも「森掛川インターチェンジ」が設置され、ご参拝の道のりが約十分となり利便が高まります。また、当社より約五分の所には「遠州森町パーキング」が設置されます。東海道の宿場町をイメージしたパーキングには、地域の特産品や名物を取り揃えております。



新東名から森町PAへの進入路（2月15日）

まつり歳時記

三月～六月

三月

弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 四日 初甲子祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十七日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
- 十七日 鉦執社例祭 (午後一時半)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)

四月

卯月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 宮さくら祭 (午前十時)
- 三日 神武天皇祭遙拝式 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 七日 勸学祭 (午前十一時)
- 八日 杉 祭 (午前九時)
- 八日 全国一宮等合殿社例祭 (午前九時半)
- 十二日 垢籬祭 (午前十一時)
- 十二日 舞 揃 (午後二時)
- 十四日 献詠祭 (午前九時)
- 十四日 氏子入り奉告祭 (午後二時)
- 十四日 十二段舞楽奉奏 (午後二時)
- 十五日 十二段舞楽奉奏 (午前十一時)
- 十五日 神幸祭 (午後二時)
- 十五日 献茶祭(手揉み保存会) (午後四時)
- 十七日 前日祭 (午前十時)
- 十八日 例 祭 (午前十時)
- 二十九日 昭和祭 (午前九時)

五月

皐月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 甲子祭 (午前九時)
- 五日 こども祭 (午前十一時)
- 六日 本宮山青葉祭 (午前十一時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)

六月

水無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前九時)
- 二日 花菖蒲観賞祭 (午前十時半)
- 三日 花しょうぶまつり (午前十時半)
- 六日 本宮山月次祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十二日 御田植祭 (午前九時)
- 三十日 夏越の大祓式 (午後三時)



初夏の花菖蒲 (平成23年6月1日)

献詠祭の和歌募集

当社では、献詠祭で神前に奉納する和歌を募集しています。
左記の要項にて多数ご応募くださいますようお願い申し上げます。

- ◆兼題 「桜」・「絆」
- ◆用紙 短冊

(歌は楷書にてお書き下さい。
裏面に住所・氏名を明記下さい。)

- ◆献詠費 無料
- ◆締切 四月十一日(水)
- ◆宛 先 〒四三七〇二二六

静岡県周智郡森町一宮三五五六―一
小國神社社務所 祭儀課献詠係



記念館北側の「滝桜」

稚児行列奉仕者の募集

四月十五日(日)午後二時より神幸祭(おわたり)を斎行し、稚児行列を執り行います。

つきましては、本年も行列に参加される稚児を募集しておりますので、ご希望の方は当社までご連絡ください。

電話 ○五三八一八九一七三〇二
振興会 稚児行列係

募集要項
一、対象者 小学校三年生位までの男女

一、参加費 五,〇〇〇円
一、募集人員 若干名(先着順)
一、申込締切 三月三十一日(土)



神幸祭のみこし渡御

命 名

平成二十三年十二月一日
～平成二十四年一月三十一日

- | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 小倉心々美 | 吉良美 | 渥美 | 大畑 | 野口 | 山本 | 山本 | 山田 | 大田 | 山田 |
| 川崎町 | 森崎 | 川崎 | 濱松市 | 牧之原市 | 名古屋 | 掛川市 | 掛川市 | 掛川市 | 掛川市 |
| 鈴木 | 高木 | 辻 | 佐藤 | 石塚 | 村松 | 村松 | 村松 | 戸塚 | 森田 |
| 佑 | 杏梨 | 高木 | 寧音 | 香音 | 春 | 春 | 春 | 史 | 史 |
| 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 |
| 大城 | 稲穂 | 朝比奈 | 山下 | 杉井 | 青木 | 西田 | 小西 | 高木 | 高木 |
| 勇 | 葵 | 陽 | 遥也 | 栄介 | 星良 | 悠 | 美 | 星 | 星 |
| 浜松市 | 浜松市 | 袋井市 | 磐田市 | 菊川市 | 森 | 森 | 袋井市 | 袋井市 | 袋井市 |

○当社では、お子様の命名を申し受けております。



宮川の新緑（平成23年5月14日）



大人気の大絵馬（1月2日）

「小國の杜・点描」



静岡県女子神職会正式参拝（1月18日）



〈さのや会館様〉研修室・司会台の奉納（2月13日）



敬神婦人会・節分豆の袋入れ奉仕（1月24日）

平成二十四年三月十日
 「玉垂」（たまだれ）第三十四号
 題字揮毫 神社本廳元総長 工藤 伊豆
 発行 小國神社社務所
 郵便番号 四三七一〇二二六
 住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
 電話番号 〇五三八（八九）七三〇二
 FAX 〇五三八（八九）七三六七
 印刷 (有)デザインオフィス エム・エス・シー

平成二十四年一月八日（日）、第一鳥居前に
 (有)一十園様より奉納されました「枝垂れ桜」
 を撮影いたしました。将来、当社門前の名物
 桜として、風格をもって成長して戴きたいも
 のです。

表紙写真について

○伊勢の外宮の勾玉池のほとりに「せんぐう
 館」が四月七日に開館いたします。お伊勢
 参りの折には是非お立ち寄りください。

編集後記

○「玉垂」三十四号をお届けいたします。師
 走から新春の祭行事を中心にご報告させ
 て戴きました。正月以降に降雪が三回程あ
 りましたが、暖かいこの地域には珍しいこ
 とであります。花々の開花はやはり遅れて
 おりますので、早く気温が上昇して戴きた
 いものです。



氏子青年会の注連縄奉納（12月17日）